



関東徳高会 No.2

敬 愛
向 学
共 生

発行所 〒142-0062 品川区小山 4-5-2 荏原不動産 TEL 03-3781-0446 発行人：関東徳高会長 豊 正弘

ご挨拶

関東徳高会会長 豊 正弘

会員の皆様、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

平成 22 年 6 月から関東徳高会の会長職を執行しております天城町松原出身の豊正弘でございます。



昨年は想像を絶する甚大な東日本大震災の影響で定期総会と新入会員歓迎会をやむなく中止いたしました。

大震災の被害を受けられた皆様、また福島原子力発電所の放射能汚染から強制退避で今なおご苦労されておられる皆様に心よりお見舞い申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災及び津波被害がありました際に、当会として何か出来ないかと数回の役員会を招集して意見を集結したところ、義援金を集めようと言うことになり、会員の方々に御案内を出させていただきました。早速、多数の方々から義援金が集まり読売光と愛の事業団を通じて東北に 20 万円のお見舞金をお渡しすることが出来ました。義援金の件は読売新聞に関東徳高会名で掲載されていました。まずは心より厚く御礼申し上げます。

昨年は総会が出来なかった分、情報の共有化として会報を発行し、ならびに会員名簿の点検のため住所録掲載の全会員に会報の送付を行いました。

今年の総会で退任しますが、微力ながら色々会の運営等の見直し、会員増強の件、会員住所の確認等が出来ました。会報により絆が益々太くなればと思います。

来る総会には皆様お声を掛け合い多数参加していただきますよう御協力よろしく願いいたします。

2 年間ご協力、御支援ありがとうございました。

雑感

関東徳高会第二代会長 牧山 二郎

新緑の候、会員の皆様には益々御健勝のことと存じます。私は昭和 27 年卒の 2 期卒です。此度、会報を発行されると言うことで思いのまま色々述べてみたいと思います。



私達が入学し在学している頃は、まだまだ戦後という感じで、極端な物資不足でした。教科書も充分ではなくある科目等はガリ版ずりでした。又体育の時間は校庭の整備等作業時間でした。私は 1 里も離れた所の自宅通学者だったので、毎日素足で通学しました。

内地に行くのも制限があり自由に行く事もできませんでした。大学も琉大のみでした。此の様な状況のもと 3 年生の頃には日本復帰運動に力を入れました。各地で演説をして運動を盛り上げました。バンカラ姿の 2 年生と数え歌にある者達の 3 年生の姿でした。

昭和 28 年 日本に復帰後は多くの人々が関東、関西に勉強や就職のため島を後にしました。関東徳高会も最初は数人の集まりを母体とし昭和 45 年に第 1 回の総会をすることができました。会場は確か水道橋の通信会館でした。こうして準備を整えられたのも幹部の皆様の御協力と、故麓高明氏の弁護士事務所が新宿にあり、そこを拠点に出来たからです。

その後会員数も飛躍的に増えていると聞いています。徳農高と合併もあり大変な規模になっているようです。此の様な状況下で会はどうあるべきか、皆様の御意見をどんどん寄せて貰いたいものです。早い人は親子孫 3 代の卒業生がいると思います。

一時期、会は年寄りの会とも言われましたが、同窓会の中堅は壮年の皆様であって欲しいと思います。私が関係した頃は、縦横の連絡をとって会をまとめたことがあります。各学年に必ず一人は役員になって貰いその人にその同級生をまとめて貰う訳です。その他色々な方法はあると思いますので皆様の知恵を出し合ってください。

今年の 4 月に徳之島高校の母体となった実業高等学校同窓会(蔵越会)が亀津でありました。

母校の門前まで行ってきましたが以前とはまったく校舎が変わって近代的で嬉しい思いがしました。

門前に今年の進学状況の張紙があり、20 数名が国公立大学に 50 数名が私立大との記載がありました。私達の頃と比較すると隔世の感があります。また、他の資料によりますとスポーツ面においても色々な種目で頑張っている様子です。新卒の皆様も徳高会に参加して近況を発表してください。

同窓会が益々御発展されますことを願って失礼させていただきます。

平成 23 年総会報告 6月4日 於:きゅりあん 中止!

平成 23 年度の関東徳高会総会は 6 月 4 日土曜日に大井町駅前の品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて開催の予定でしたが、東日本大震災の底知れぬ傷が癒えない時期の開催は躊躇され、むしろ罹災救援募金活動が会の今あるべき姿ではないかと執行部で発議され拡大役員会を開催して中止することに決定しました。

会則上、総会は年に 1 回開催することになっていますが会報を発行して会務・会計報告を行ないました。また、収入不足が発生することになりますので通信費の御協力を例年通りお願いすることにしました。

総会中止の案内と共に会報並びに通信費と義援金のご賛同案内も同封して通信費の節約を致しました。

総会は新卒者の歓迎を兼ねる大切な事業でもあり、別途に役員を含めた有志による新入生激励の場を持つことと致しました。

新卒者歓迎会開催される 6月4日 於:新宿

関東徳高会は新卒の同窓会加入会員を歓迎、激励する会を毎年恒例事業として総会の折に、行ってきましたが平成 23 年度は東日本大震災の関係から、総会が中止となったため有志によるささやかな歓迎を新宿「酒意」にて開催いたしました。

新卒参加者：酒匂大、永美咲、大山帆子、橋本真弥、廣祐太、池上雄太郎、盛正人、盛雄紀さん以上 9 名と卒業 2～3 年生と豊会長、林正憲元会長ほか 10 余名が会した。

OB で経費を拠出し激励すると共に早めに退席して 2～3 年生に運営を委ねた。幹事：實詩織(前年度卒)

役員有志 那須高原 宿泊研修・交流会

平成 23 年 7 月 23 日(土)～24 日 1 泊 2 日の役員有志による那須高原研修・交流会が開催された。

弁護士の正野建樹先生(昭和 38 卒業)をお招きし同窓会のあり方や募金運用のあり方等について意見交換し徳高、徳農高交流の野外のバーベキューを楽しんだ。翌朝のミーティングは四本博文古河市議(徳農高昭和 43 年卒)の介護・障害施設構想や政策と郷土への思いを拝聴し、同窓会の絆の大切さを語り合った。

宿泊した貸別荘は 四本市議が運営する施設であり将来構想として政策の一環とした介護・障害者も利用しやすいように改造する計画の緑豊かな施設である。



那須高原 研修交流会参加の皆さん

平成 23 年度通信費・大震災救援金に感謝

関東徳高会の継続的發展に本年度も多くの方々からご芳志を賜りました。謹んで厚くお礼申し上げます。御賛同いただきましたご芳志額を報告いたします。

平成 23 年は想像を絶する東日本大震災の被災者の皆様に対して「絆」や「ユイワク」の心を大切にする島文化を関東徳高会として表せないものかと役員会で諮ったところ、多くの会員の皆様へ救援金の御協力をいただくことが良いことと決議されました。

毎年の通信費をお願いする際に御出金戴くこととしてご案内いたしましたところ、総額 **¥413,000**—のご芳志が届きました。会員の皆様の熱き思いが多額の金額となりました。心より感謝申し上げます。

募金のお願い趣意書に従いまして約半額の 20 万円を救援金に、残りを当会の通信費をはじめとした運営資金に利用させていただきます。見舞金は読売新聞社の「読売光と愛の事業団」に委託いたしました。

<p style="font-size: small;">振替払込請求書兼受領証</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">001908</td> <td style="width: 20%;">72819</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">読売光と愛の事業団</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>¥200000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>依頼人</td> <td colspan="2">関東徳高会</td> </tr> <tr> <td>依頼人</td> <td colspan="2">豊正弘</td> </tr> <tr> <td>科目</td> <td>330</td> <td>23-09-08 品川小山三郵便局</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">(00198)03 N91230018</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">この受領証は、大切に保管してください。</p>	001908	72819		読売光と愛の事業団			金額	¥200000		依頼人	関東徳高会		依頼人	豊正弘		科目	330	23-09-08 品川小山三郵便局	備考	(00198)03 N91230018		<p>募金の委託状況は 2011 年 9 月 23 日(火)の読売新聞 朝刊首都圏版に掲載されました。紙面をお借りしてご報告いたします。震災被害状況は 9 月 12 日現在(警察庁調べ)死者 1 万 5783 人、行方不明 4086 人、避難者 8 万 2945 人。 祈る：早期復興!</p> <p style="font-size: x-small;">東日本大震災救援募金 (振替先)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽港区 久保谷(1800円) ▽新宿区 飯島(1万円) ▽東区 中村(3万円) ▽品川区 鹿見(高島立徳・高島朝東地区同窓会 関東徳高会(20万円)) ▽豊島区 小出俊雄(1万円) ▽板橋区 ビートルズサクル・イ ▽エロイサマ(3万円) ▽河合正華(1万円) ▽足立区 トラベルジャスト友の会(宇奈月編(8000円)) ▽調布市 関 ▽目黒区 あかね(1万円) ▽小金井市 YC小金井従業員一同(5千円) <p style="font-size: x-small;">読売新聞社 読売光と愛の事業団</p>
001908	72819																					
読売光と愛の事業団																						
金額	¥200000																					
依頼人	関東徳高会																					
依頼人	豊正弘																					
科目	330	23-09-08 品川小山三郵便局																				
備考	(00198)03 N91230018																					

【会員便り】 軽井沢で 23 年新卒者激励会

平成 23 年 10 月 15 日(土)～16 日 新卒生激励歓迎会が紅葉の盛んな軽井沢で開催された。

林正憲(39 年卒・元徳高会々長コスモ調剤薬局経営)さんの別荘を利用して昭和 39 年卒業生を中心としたメンバーが近年続けて開催している催しである。

夢を描いて達成に向けて日々努力を重ねることが大切だと激励した。翌日は島では味わえない信州の色鮮やかな紅葉を楽しんだ。

平成 24 年度も企画されており先着順で 15 名程度まで受け入れ予定です。(連絡：090-3209-8751 林正憲)



松山さん

2011/7/10

【母校便り】 母校の近況を覗いて見ましょう

○校歌・校訓・校章 新設さる！

2006年 鹿児島県立徳之島農業高等学校と徳之島高等学校が発展的に統合され、校歌はじめ校訓・校章も新しく設定されている。(本号では校章を紹介します) 本会報の1頁目 左上の校章をご覧ください。

【校章】 製作者：木下昭二氏(元徳高美術部教諭)

1. 島に群生する蘇鉄の葉が内から広がるイメージは、祖先から受け継いだ自然や文化を愛し、未来へ引き継ぐ気持ちを大切に「敬愛」を象徴している。
2. 中心のペン先は学を志して集まった若人の限りない可能性を秘めた未来を表している。また自己実現に向けて自ら学問を求め、高い理想に向かって伸びる「向学」を象徴している。
3. ベースとなる輪(和)は、太陽・鏡・波をイメージし、自分をしっかり見つめることにより互いに存在を認め合い、お互いが美しく輝く「共生」を象徴している。

○平成24年3月卒業生の進路状況 第4期生

平成24年度の卒業生は148名。全員見事進路が確定し夢の実現に母校を巣立っています。頼もしい後輩たちの頑張りを見ると、我が事のように思うのがOB・OGではないでしょうか。同窓会を活性化させ懐に飛び込んできていただきましょう！

(集計は167名となりますが延べ人数で示しています)

卒業生 150名	進学				就職
	大学		短大	専門 学校等	
学科	国公立	私立	—		
普通	24	30	10	44	4
総合	1	5	9	29	11
計	25	35	19	73	15

○平成24年度生徒構成数

学年	1学年	2学年	3学年	合計
人数	128	116	160	404

○平成24年同窓会入会式

平成24年2月29日 卒業式を3月1日に控え同窓会への入会式が行なわれた。川畑関西徳高会副会長 里井関西緑友会会長が参加し、祝辞を述べた。



入会式を祝う上松校長 向井教諭 福田さん 川畑さん 里井さん

【ふるさと関連便り】 ふるさとの出来事コーナー

○のろのろ台風15号 農業被害大きく



15号の影響で生鮮食料品切れ

平成23年は例年がない台風の当り年で5月の2号により「たんかん」が花芽を落とされ、9月の迷走台風は雨が無く潮風でキビ収穫に大きな影響。30%の減収。

○徳之島の100才以上 44名

県下でも徳之島は突出した長寿の島である。



敬老会 天城町 松原上区

町名	総人口	男	女	計
伊仙	6,868	1	20	21
徳之島	12,094	0	15	15
天城	6,653	0	8	8

○3町 町木・町花

	天城町	伊仙町	徳之島町
木	 ソテツ	 ガジュマル	 アダン
花	 つつじ	 ハイビスカス	 オオハマボウ

○TPP参加阻止大会



一昨年は普天間基地移設反対で揺れた徳之島。世界の政治・経済の課題がアジアに集中し中国の台頭とも重なり南西諸島の重要性が際立ってきている。

○岡前小・犬田布中学校 校舎落成



岡前小学校では3階建て校舎が、犬田布中学校では2階建2棟の新校舎が完成し多くの校区民が集い盛大な落成祝賀会を開催した。母校の発展振りを是非訪ねてみたいものです。

○徳之島「まぶらい」バンド快挙 NHKグランプリ



代表 加川 徹さん 後列右

NHK第15回オヤジバトル 決戦ライブが、12.2.12に福岡サンパレスホールで行なわれ西日本ブロック代表で出場の「まぶらい」がワイルド節で優勝。

【会務報告】 平成 23 年 6 月～平成 24 年 4 月末

平成 23 年 6 月 4 日開催予定であった総会以降の主な会務を以下の通り報告いたします。

- H23.6.4：平成 23 年定例総会の予定は東日本大震災後の影響を受けて中止した。
- H23.6.4：平成 23 年新卒生歓迎会を新宿歌舞伎町の居酒屋「酒意」にて役員他有志により開催
- H23.6.5：関東徳高会会報の発行および通信費ならびに震災被害地救援募金協力お願い書の発送
- H23.7.3：関東伊仙町会総会 豊会長出席
- H23.7.11：関東徳之島町会総会 豊会長出席
- H23.7.22：那須高原 役員有志研修・交流会
- H23.9.3：関東徳高会役員会 於：東五反田「塩梅」救援・通信入金額の報告、空調関連情報他
- H23.9.27：関東天城町会総会 豊会長出席
- H23.11.3：関東徳州会総会 豊会長出席
- H23.12.3：関東徳高会役員会 於：東五反田「塩梅」救援金振込み報告、平成 24 年総会関係
- H24.1.14：関東徳高会三役会議 於：豊事務所 徳高空調設置関係、徳高関係者の立ち位置
- H24.1.26：関東徳高会三役会議 於：東五反田「塩梅」徳高空調関係の今後の進め方
- H24.2.5：会長・幹事長会 於：豊事務所 徳高空調関係。募金事業資金の流れ
- H24.2.25：関東徳高会三役有志 於：志村坂上 徳高空調関係の今後の進め方
- H24.4.21：関東徳高会役員会 於：東五反田「塩梅」総会開催・時期役員選考会その他

【蔵越会 傘寿のお祝い全国同窓会開催される】

亀津高等女学校・亀津実業高等学校当時の卒業生は平成 24 年 4 月 17 日徳之島亀津のホテルニューにしで全国同窓会を開催した。徳之島高等学校同窓会の 1・2 期生に当たる創生期の方々である。「蔵越会」と称して時々集ってきたが傘寿の祝いをしようと学び舎の地に 40 名が参加した。祝う傘寿・祈る米寿！

【会計報告】 H 23 年 4 月 1 日～H 24 年 3 月 31 日

会則にもとづく会計年度の収支は以下の通りです。

収入 (円)		支出 (円)	
前期繰越金	266,753	総会・懇親費	13,800
総会会費(払戻金)	11,200	義援(救援)金	200,530
総会寄付金	0	役員会議費	69,000
来賓祝儀	0	事務・通信費	113,588
通信・義捐金	424,000	郷友会祝儀	40,000
本部支援金	0	雑費(祝電等)	7,205
役員会余剰金	17,358	(小計)	444,123
預金利息他	59	次期繰越金	275,247
収入合計	719,370	支出合計	719,370

*総会会費収支は会場予約費および 50%払い戻し額

上記の通り報告いたします。

平成 24 年 3 月 31 日

会 長 豊 正弘 印省略

会 計 豊 正行 印省略

監査報告 上記会計報告は関係書類を照合の結果適正に処理されていることを認めます。

平成 24 年 3 月 31 日

会 計 勝 光重印省略

【徳高からの空調設置要請事項処置について】

母校からの空調設置要請については、誠意情報の収集と資金の目的、管理と運営のあり方等について整理中であり、結論に至っておりません。審議が継続されているところです。

【あとがき】

今年も新卒のフレッシュな若者が同窓会会員に入会された情報は、同窓会の継続を担う役員の立場としては心引き締まる思いです。傘寿の祝いをされた創世記の皆さんと若人との連携、思いをひとつにする会報が届けできればと今年も作成が出来ました。お目通し下さい。

当会報や関東徳高会運営へのご希望や、各期の同窓会活動情報など御投稿下さいお待ちしております。(文責 喜多)



蔵越会
全国同窓会



旧徳高



旧徳農高

「思い出の校章」